

清泉女学院復興支援プロジェクト 2017

Part1 管野千代子写真展

『あれから6年 3・11の記憶 飯舘村の暮らし』

開催期間：平成29年11月19日(日)～11月24日(金) ただし23日(祝)は閉館

開館時間：9:00～17:00

会場：清泉女学院大学・短期大学 図書館1階

入場：無料

管野千代子さんは、長年住み慣れた浪江町の住まいから原発事故で追われましたが、たまたま震災前年の2010年から2011年の冬にかけて飯舘村で、自然豊かな山村の生活や風景を写しとっていました。写真展では小川で水遊びを楽しむ子どもたちや、炭焼き仲間、農家の人々の笑い声が聞こえてきそうな表情を生き生きと伝えます。



《管野千代子さんプロフィール》

1946年生まれ。ニッコールクラブ・全日本写真連盟会員。各種フォトコンテストで入賞多数。震災前の飯舘村の暮らしの写真展を全国各地で開催し、大きな反響を呼んだ。自身も浪江町で原発事故の被災者となりながらも福島の実状を撮り続けている。

Part2

『木村紀夫さん講演会』

開催日時：平成29年11月22日(水) 12:55～14:25

会場：清泉女学院大学・短期大学 フランシスコ館1階101教室

入場：無料



木村紀夫さんは津波で父と妻を亡くし、ただ一人行方不明だった次女の汐凧ちゃんの自主捜索のため、毎月避難先の白馬村から福島県大熊町まで通い続けました。そして、震災から5年9か月が経過した昨年12月に、汐凧ちゃんの遺骨の一部が、今もなお全域避難区域となっている自宅跡近くで見つかりました。現在は、長女と二人で白馬村に移り住み、新たな生活をスタートさせています。講演会ではそんな白馬での暮らしと、いまの想いを伺います。

【お問い合わせ先】

清泉女学院大学・清泉女学院短期大学 地域連携センター

〒381-0085 長野市上野2丁目120-8

TEL：026-295-1325

FAX：026-217-2846

E-mail：chiiki@seisen-jc.ac.jp